

2016年3月期決算説明会資料

青木あすなる建設株式会社
証券コード：1865

2016年5月31日

ご注意：本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

2016年3月期決算(連結) 説明

企業集団の状況

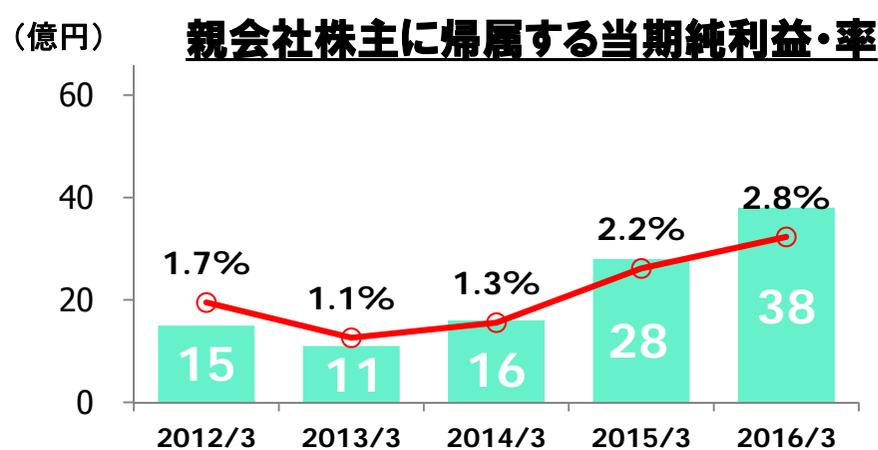
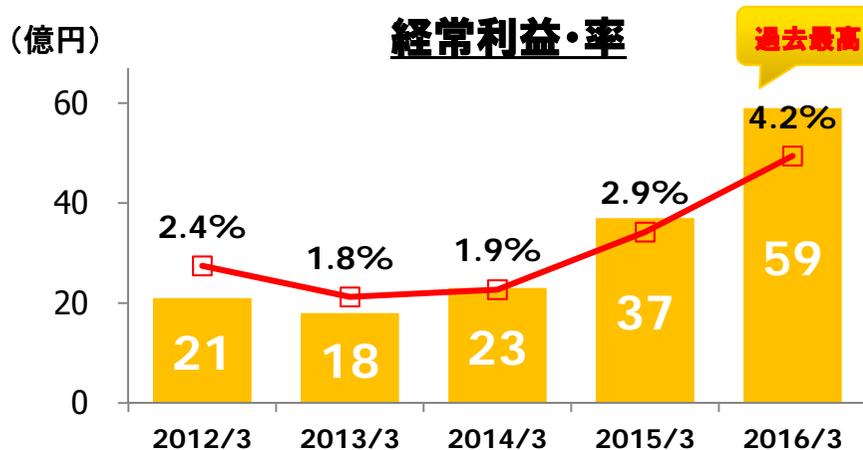
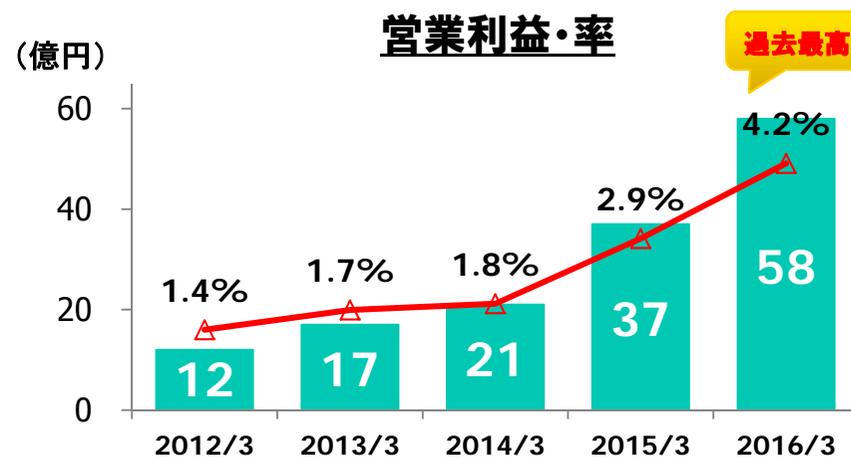
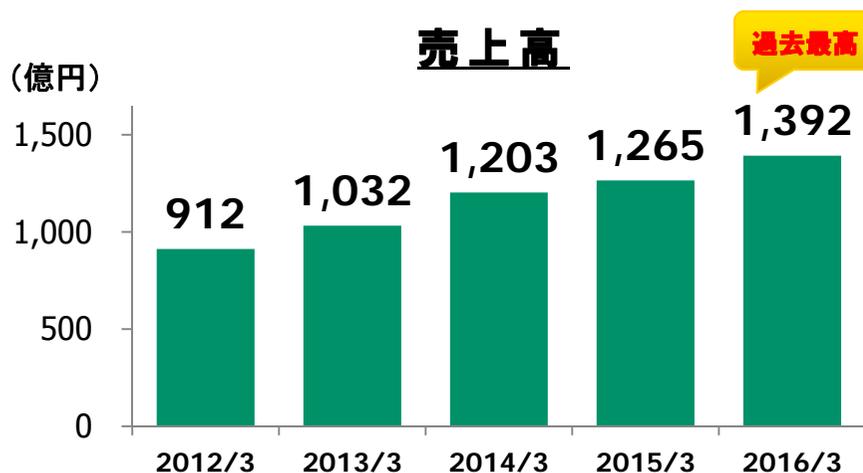
■ 当社グループは、当社およびグループ会社8社により構成され、建設事業および不動産事業を事業内容とし、これらに関連する事業をおこなっている。

	建 築	土 木	不 動 産	主要営業エリア
当社	青木あすなる建設(株)			国内(全国)
国内 グループ 会社	みらい建設工業(株)			国内(全国)
	東興ジオテック(株)			国内(全国)
	青木マリーン(株)			国内(全国)
	あすなる道路(株)			北海道
	(株)エムズ			関東首都圏
	新潟みらい建設(株)			新潟県
	(株)島田組			関西圏
	(株)アクセス			関西圏

業績サマリー(連結)

(億円未満切捨)

- 売上高・営業利益は4期連続、経常利益・当期純利益は3期連続の増収増益。
- 売上高・営業利益・経常利益は過去最高を更新。



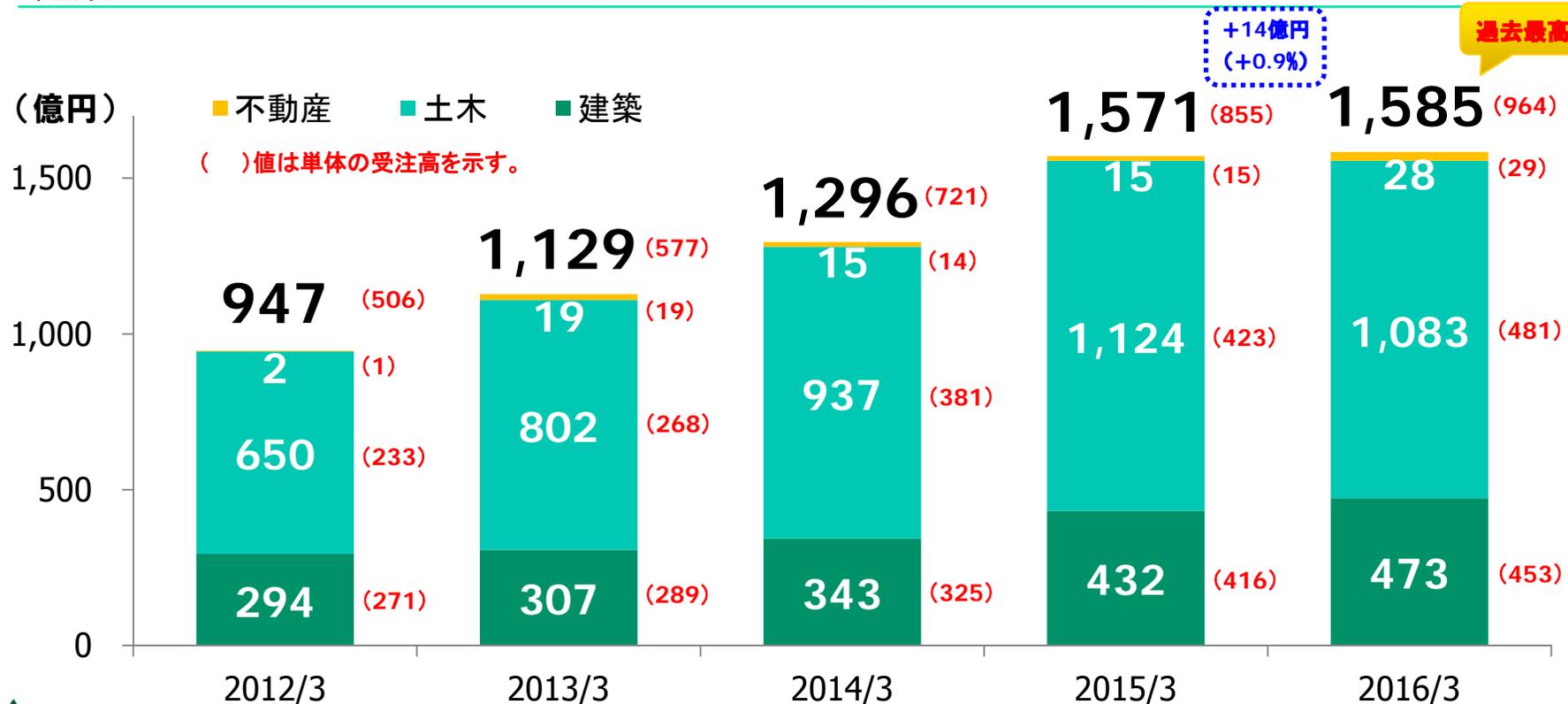
受注高(連結)

(億円未満切捨)

■ 建築は民間案件の受注を伸ばし**6期連続増加**、土木はグループ会社において施工能力や採算を考慮した選別受注を進めたことにより**微減**、全体では**過去最高を更新**。

受注高連単倍率

全体	1.9倍	2.0倍	1.8倍	1.8倍	1.6倍
土木	2.8倍	3.0倍	2.5倍	2.7倍	2.2倍
建築	1.1倍	1.1倍	1.1倍	1.0倍	1.0倍



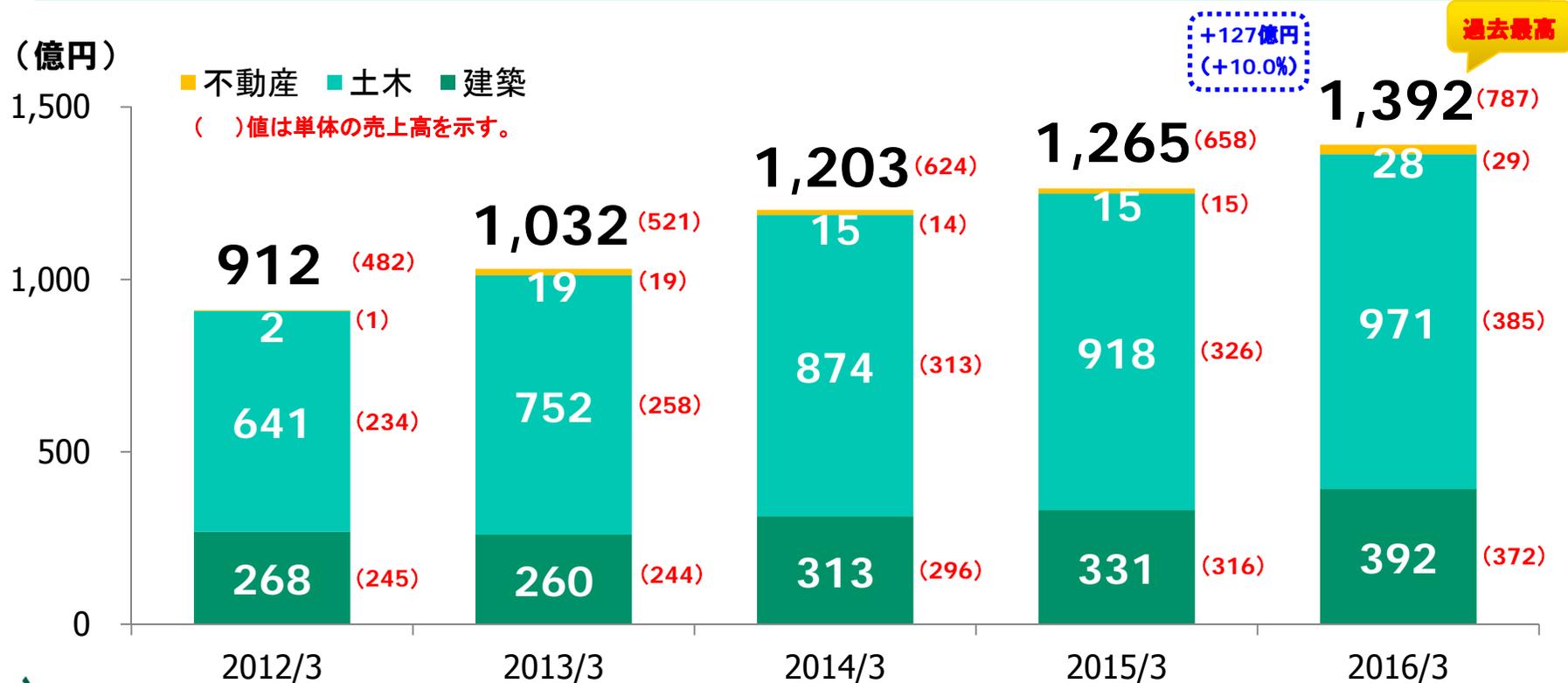
売上高(連結)

(億円未満切捨)

■ 建築・土木ともに手持工事が順調に進捗したこと等により、全体では4期連続増収、過去最高を更新。

売上高連単倍率

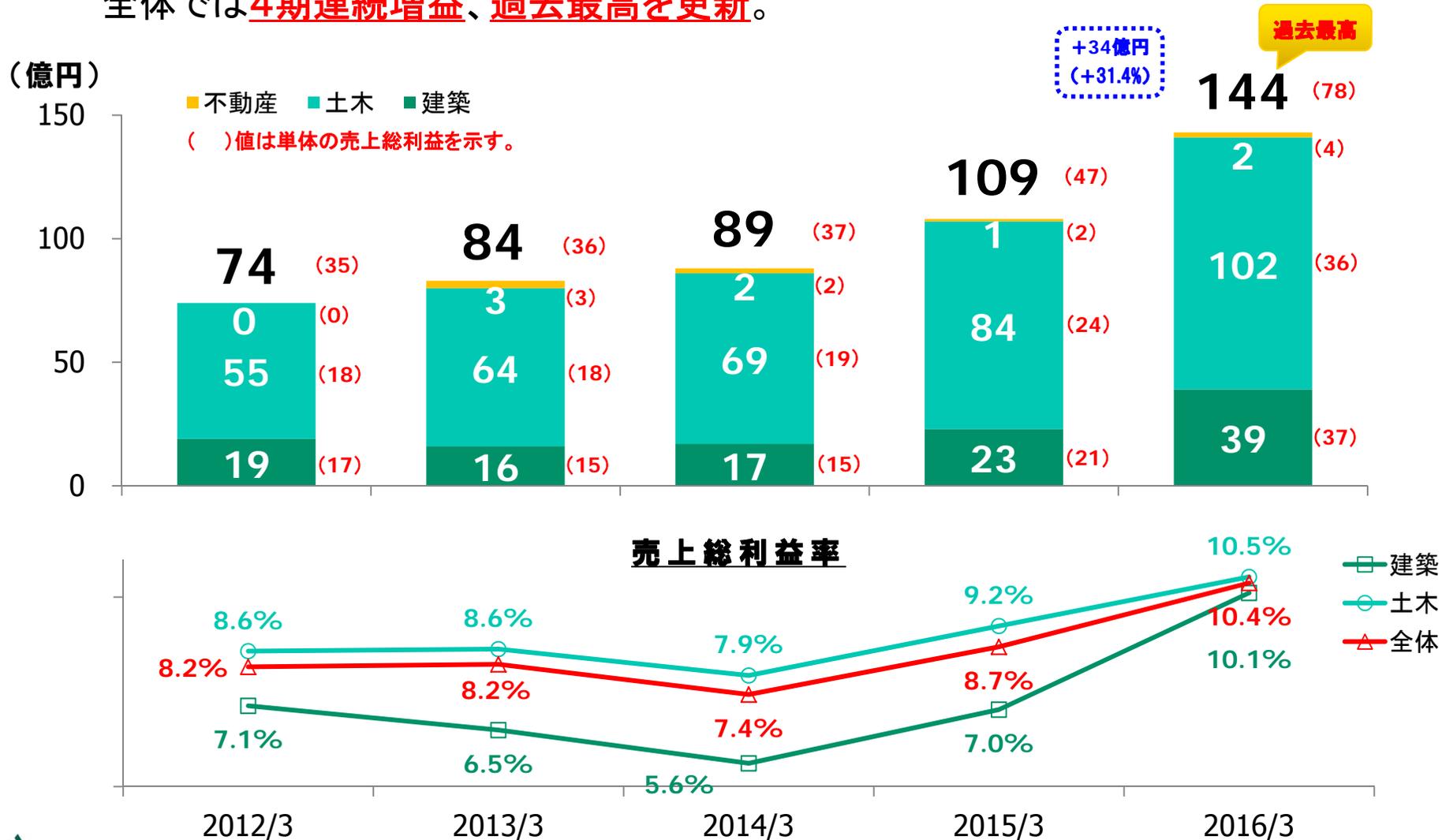
全体	1.9倍	2.0倍	1.9倍	1.9倍	1.8倍
土木	2.7倍	2.9倍	2.8倍	2.8倍	2.5倍
建築	1.1倍	1.1倍	1.1倍	1.0倍	1.1倍



売上総利益(連結)

(億円未満切捨)

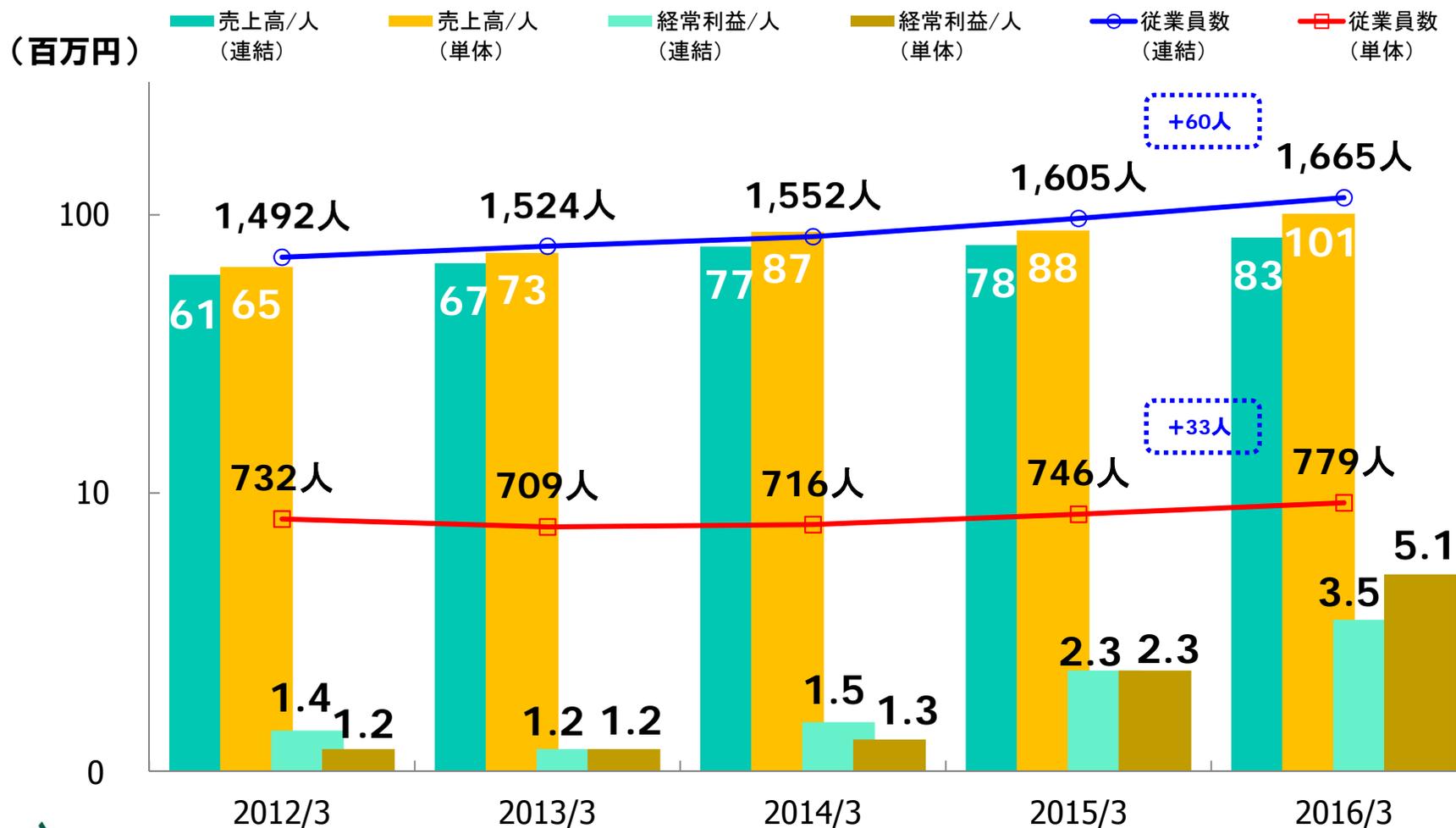
■ 建築・土木ともに売上高の増加に加え、当社売上総利益率の大幅改善により、
全体では4期連続増益、過去最高を更新。



従業員数および生産性

(売上高/人:百万円未満切捨)
(経常利益/人:十万円未満切捨)

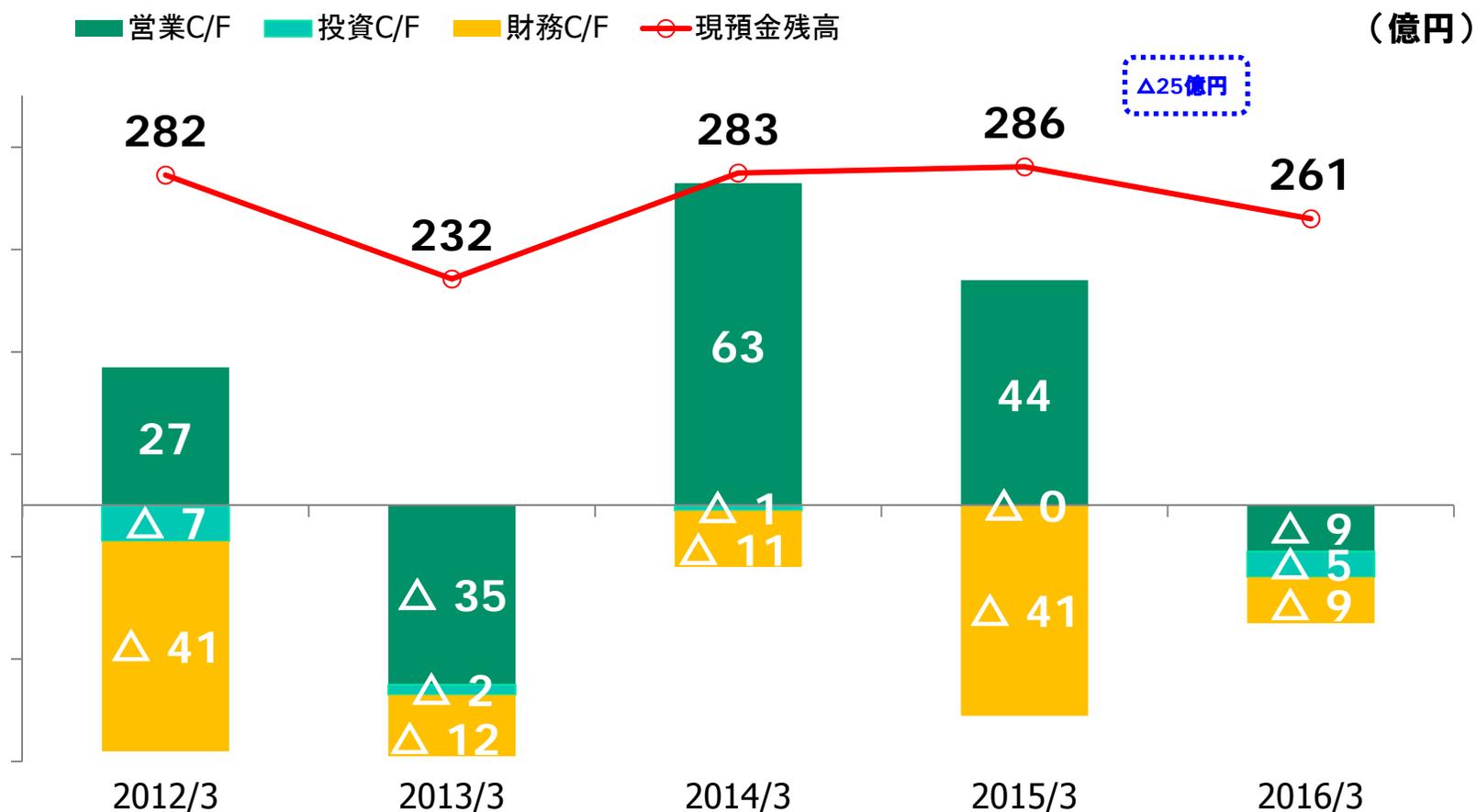
■ 期末従業員数は継続的な新卒採用等により**増加傾向**、一人当たりの生産性は増収増益により**改善傾向**。



キャッシュ・フロー(連結)

(億円未満切捨)

■ 営業C/Fは工事量の増加にともなう売上債権等の増加により9億円の支出、投資C/Fは有形固定資産の取得等により5億円の支出、財務C/Fは配当金の支払等により9億円の支出。



貸借対照表(連結)

(億円未満切捨)

(単位:億円)

	2015/3	2016/3	増減額
流動資産	(839)	(850)	(10)
現金預金	286	261	△25
受取手形・完成工事未収入金等	451	510	59
販売用不動産	24	13	△11
不動産事業支出金	6	18	12
未収入金	53	18	△35
繰延税金資産	5	10	4
その他	12	20	8
貸倒引当金	△1	△2	△1
固定資産	(139)	(122)	(△17)
有形固定資産	(73)	(69)	(△4)
無形固定資産	(2)	(1)	(△0)
投資その他の資産	(64)	(51)	(△12)
投資有価証券	38	35	△2
長期未収入金	11	8	△3
繰延税金資産	6	3	△2
その他	13	12	△1
貸倒引当金	△4	△8	△3
資産合計	979	972	△6

	2015/3	2016/3	増減額
流動負債	(334)	(298)	(△36)
工事未払金	199	185	△14
未成工事受入金	64	55	△9
賞与引当金	10	16	5
その他	59	41	△18
固定負債	(92)	(90)	(△1)
退職給付に係る負債	83	82	△0
その他	8	7	△0
負債合計	426	389	△37
株主資本	(552)	(582)	(30)
資本金	50	50	—
資本剰余金	237	237	—
利益剰余金	284	314	30
自己株式	△19	△19	△0
その他の包括利益累計額	(△0)	(0)	(1)
非支配株主持分	(0)	(0)	(0)
純資産合計	552	583	31
(自己資本比率)	(56.4%)	(60.0%)	
負債・純資産合計	979	972	△6

グループ会社の業績(1)

(億円未満切捨)



みらい建設工業

主要事業：海上工事、港湾工事、陸上土木工事、建築工事



茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区
廃棄物埋立護岸築造工事



沖縄県平良港岸壁築造工事



ポンプ浚渫船「第三拓洋丸」(保有船)

(単位：億円)

	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率
受注高	210	266	269	403	306	△24.1%
売上高	200	234	292	288	297	2.9%
営業利益	5	6	6	8	10	25.0%
経常利益	6	6	7	8	10	26.2%
当期純利益	5	5	6	7	12	54.6%
期末従業員数	259人	268人	267人	272人	289人	

※受注高および売上高はグループ内取引高を除き計上。



青木あすなろ建設

グループ会社の業績(2)

(億円未満切捨)

東興ジオテック

主要事業: 法面保護工事、地盤改良工事、爆砕工事、保温・保冷・耐火工事



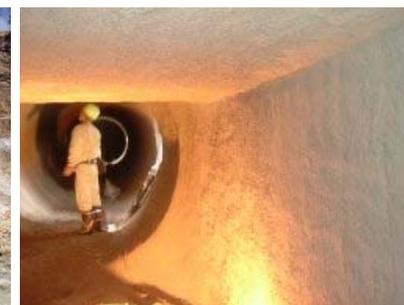
第二東名高速道路牧平工事
(法面保護工事)



揖斐川地蔵下流川表高潮堤防
補強工事(地盤改良工事)



大分川ダム建設工事
(爆砕工事)



コークス炉の出口煙道耐火工事
(耐火工事)

(単位: 億円)

	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率
受注高	155	162	192	210	218	4.0%
売上高	146	162	175	212	214	1.2%
営業利益	2	5	7	13	13	△0.7%
経常利益	2	5	6	13	13	0.1%
当期純利益	2	2	2	7	6	△20.0%
期末従業員数	358人	354人	368人	378人	386人	

その他のグループ会社について

(億円未満切捨)

会社名	本社所在地	主要事業	2016/3 売上高	従業員数 (2016/3末)	
 青木マリーン	神戸市 東灘区	埋立工事・浚 渫工事、海上 輸送	33億円	83人	
 島田組 アクセス	大阪府 八尾市	埋蔵文化財発 掘調査、土木 工事	31億円	70人	
 あすなる道路	札幌市 中央区	道路・舗装・土 木工事、合材 販売	15億円	28人	
 エムズ	東京都 中央区	建築リノベ ーション工事	14億円	21人	
 新潟みらい建設	新潟県 南魚沼郡	道路・舗装・土 木工事、合材 販売	6億円	9人	

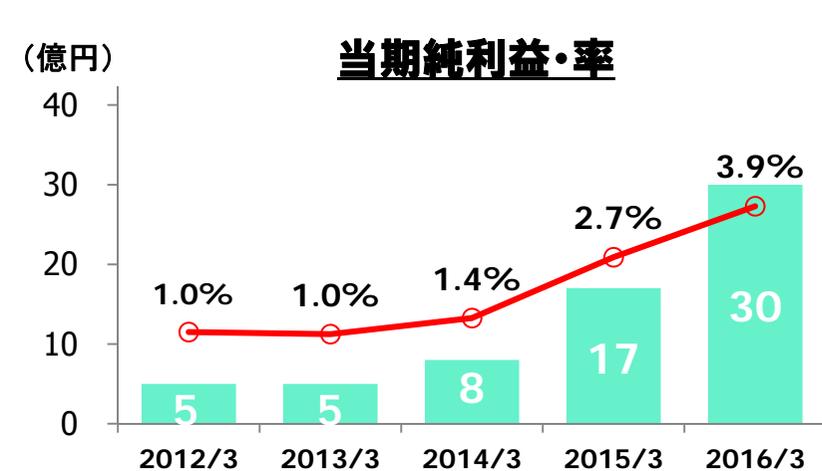
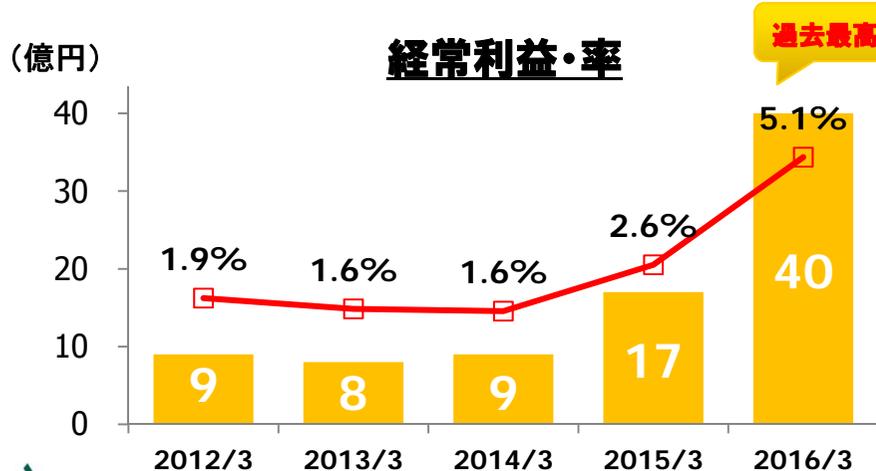
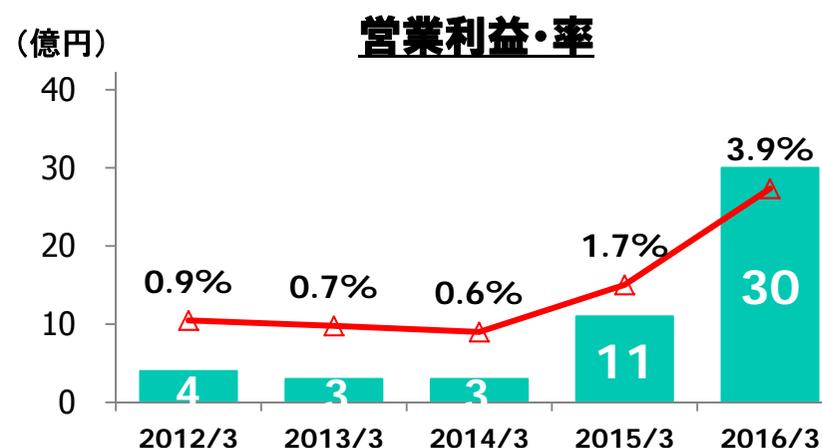
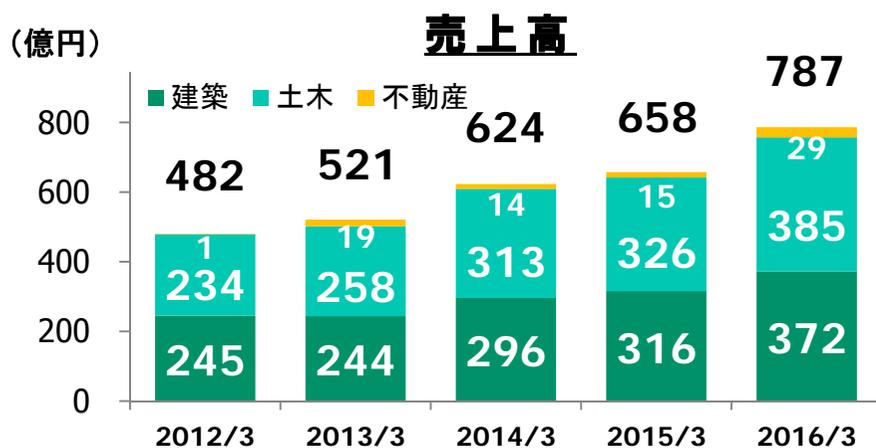
※2016年3月期の売上高が大きい順に記載。

2016年3月期決算(個別) 説明

業績サマリー(個別)

(億円未満切捨)

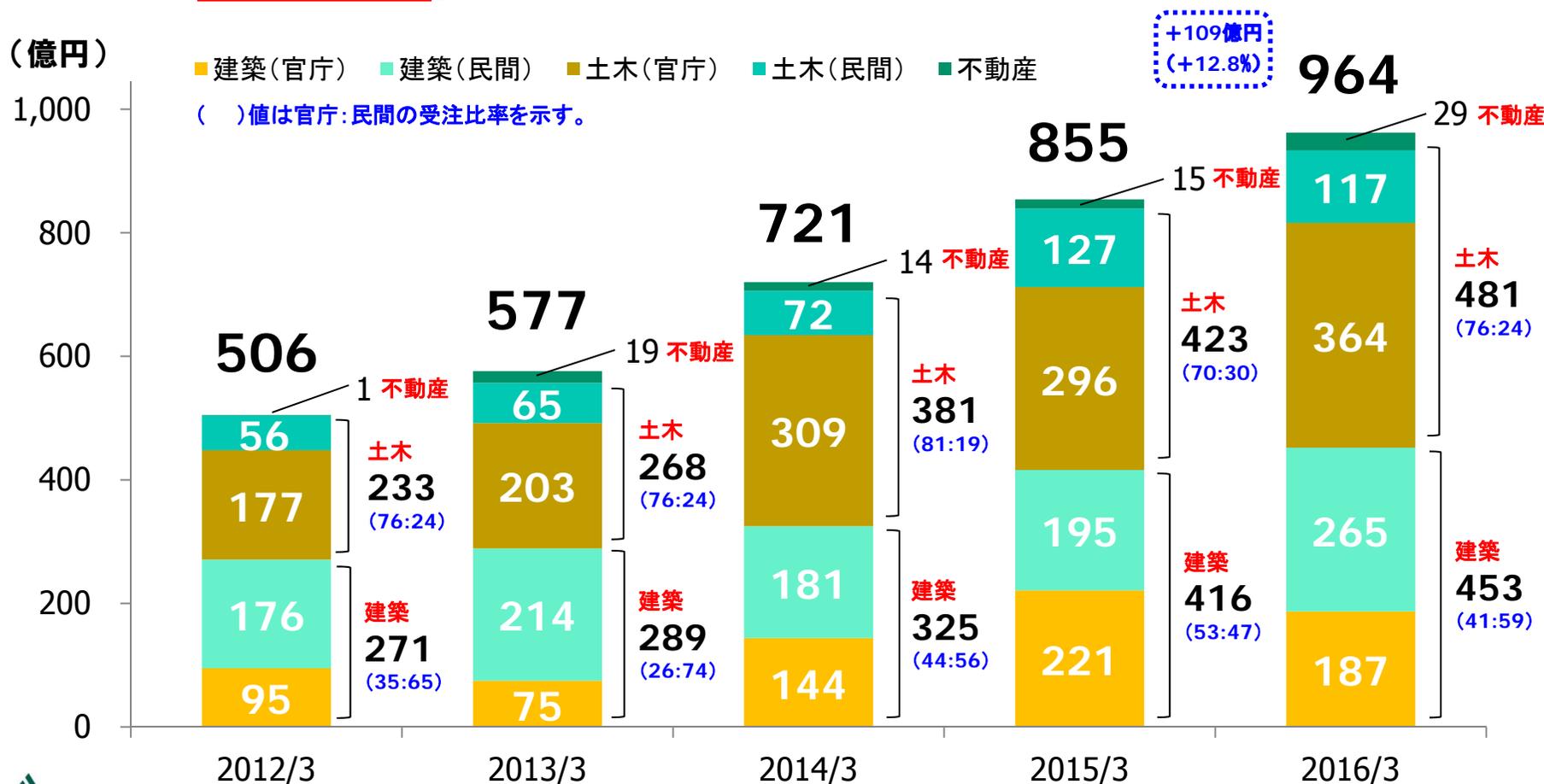
- 売上高は受注高の増加に加え手持工事が順調に進捗し、**4期連続増収**。
- 利益面は売上高の増加に加え工事採算の改善により、**大幅に増益**。経常利益は上記に加えグループ会社からの受取配当金の増加等により、**過去最高を更新**。



受注高(個別)

(億円未満切捨)

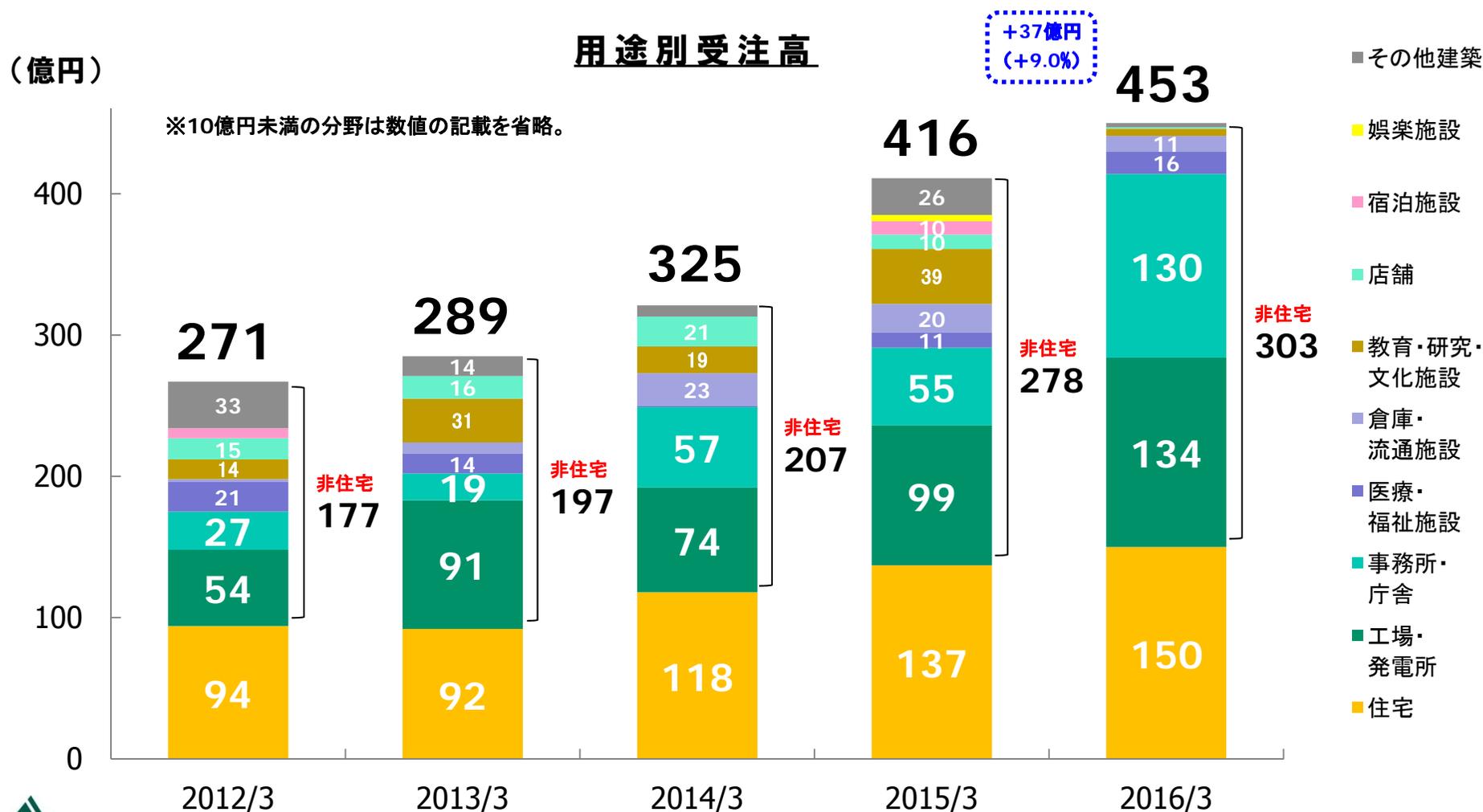
- 建築: 官庁は前期に大規模耐震改修や複数の災害公営住宅を受注した反動で減少も、民間はマンションおよび工場の受注を伸ばし、全体では**6期連続増加**。
- 土木: 民間は微減も、高速道路の大規模更新工事など官庁の受注を伸ばし、全体では**5期連続増加**。



建築受注高(個別)

(億円未満切捨)

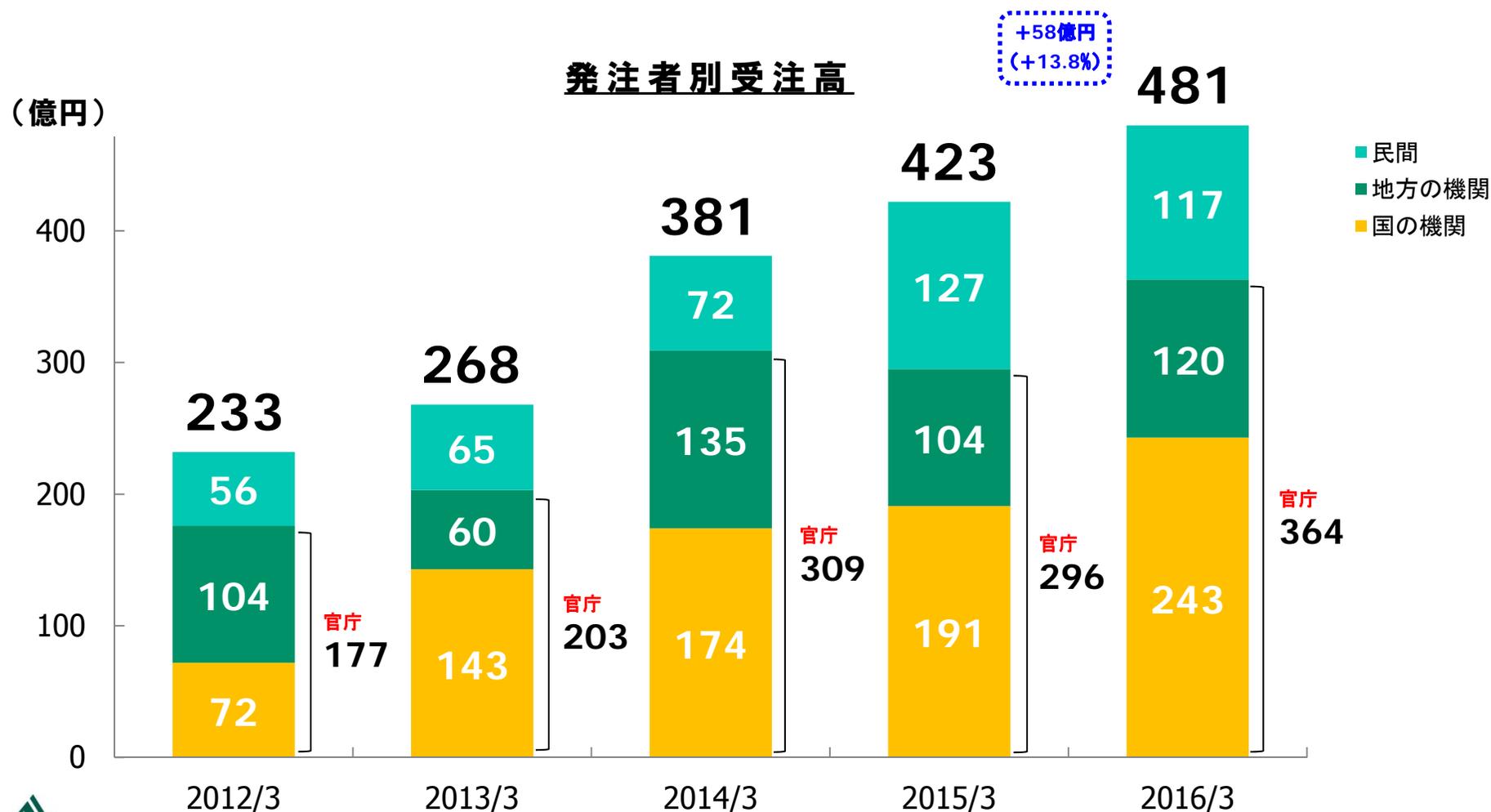
■住宅分野・非住宅分野ともに受注を伸ばし、**6期連続増加**。特に、事務所・庁舎分野は大型庁舎案件の受注により**前期に比べ大きく増加**。



土木受注高(個別)

(億円未満切捨)

■官庁は高速道路の大規模更新工事の受注等により**増加**。民間は前期同様に風力・太陽光等の再生可能エネルギー分野に注力するも**微減**。全体では、**5期連続増加**。



不動産販売高(個別)

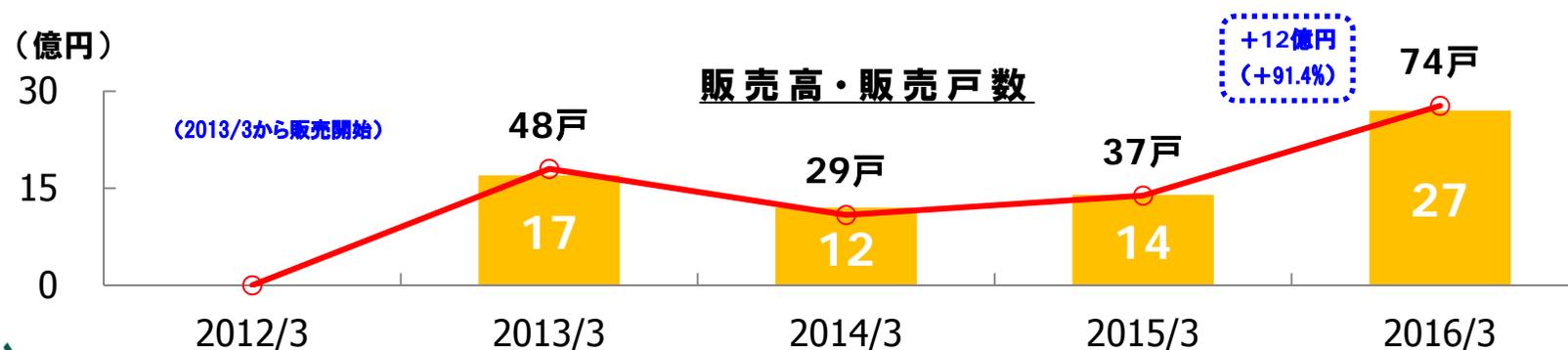
(億円未満切捨)

■2013年3月期より、土地取得、企画・設計、施工、販売、アフターサービスまで一貫してサポートする、自社分譲マンション事業「アビダス」(ABDS)を販売開始。

Aoki-asunaro Build & Direct Sales

販売実績

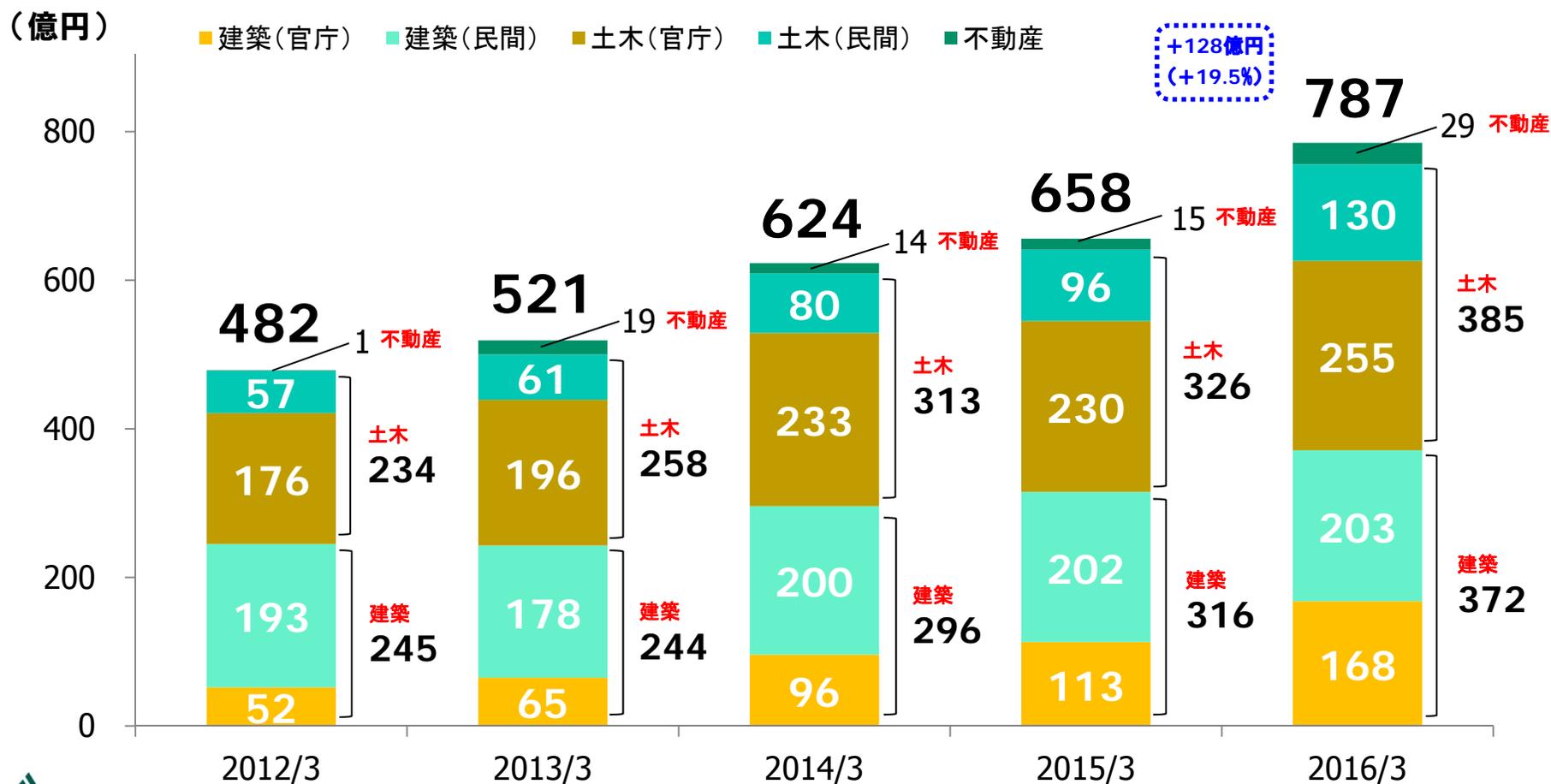
物件名	所在地	総販売戸数	販売状況 (2016年5月末現在)
アビダス稲城駅前	東京都稲城市	48戸	販売終了
アビダス町田中町イースト・ウェスト	東京都町田市	56戸	販売終了
アビダス町田中町パークス	東京都町田市	40戸	販売終了
アビダス町田中町ブライト	東京都町田市	20戸	販売終了
アビダス舎人テラス	東京都足立区	47戸	販売終了
アビダスタまプラーザ	神奈川県川崎市	61戸	販売中



売上高(個別)

(億円未満切捨)

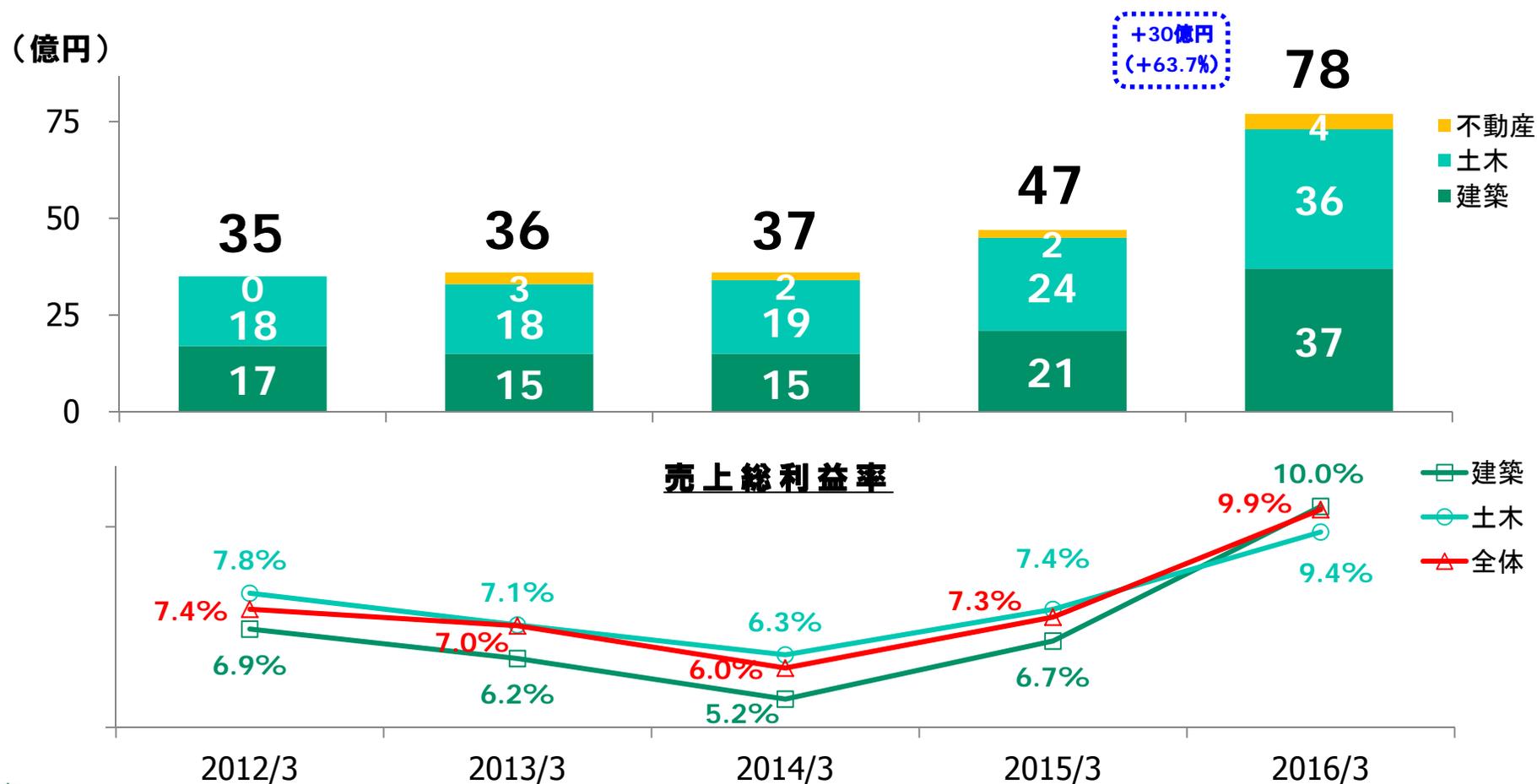
■土木・建築ともに受注高の増加に加え手持工事が順調に進捗したこと等により、全体では4期連続増収。



売上総利益(個別)

(億円未満切捨)

■売上総利益は建築・土木ともに売上高の増加に加え、売上総利益率の大幅改善により、全体では**4期連続増益**。売上総利益率は選別受注や追加工事の獲得、またコスト上昇が一服したこと等により、引渡工事を中心に採算性が**大幅に改善**。



2017年3月期決算 業績予想

業績予想サマリー

(億円未満切捨)

■2017年3月期の業績は、首都圏を中心とする大型工事の本格化による労務・資材費の高騰が見込まれるものの、税金費用の増加により微減を見込む個別の当期純利益を除き**増加(増収・増益)を見込む**。また、受注高は、**採算・施工能力を重視した選別受注**により、連結・個別とも**減少を見込む**。

	2016/3		2017/3							
	連結 実績	個別 実績	連結			個別				
			中期計画	予想	前期比 増減率	中計比 増減率	中期計画	予想	前期比 増減率	中計比 増減率
売上高	1,392 億円	787 億円	1,450 億円	1,460 億円	+4.8 %	+0.7 %	750 億円	820 億円	+4.2 %	+9.3 %
営業利益	58 億円	30 億円	46 億円	63 億円	+7.5 %	+37.0 %	20 億円	32 億円	+5.2 %	+60.0 %
営業利益率	4.2 %	3.9 %	3.2 %	4.3 %	+0.1 pt	+1.1 pt	2.7 %	3.9 %	+0.0 pt	+1.2 pt
経常利益	59 億円	40 億円	46 億円	62 億円	+5.1 %	+34.8 %	27 億円	42 億円	+4.4 %	+55.6 %
当期純利益 [※]	38 億円	30 億円	34 億円	40 億円	+3.7 %	+17.6 %	22 億円	30 億円	△1.1 %	+36.4 %
受注高	1,585 億円	964 億円	1,600 億円	1,550 億円	△2.3 %	△3.1 %	900 億円	910 億円	△5.7 %	+1.1 %

※連結の当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を示す。

セグメント別業績予想(連結)

(百万円未満切捨)

(単位:百万円)

	2016/3	2017/3	
	実績	予想	前期比増減率
売上高	139,269	146,000	+4.8%
建築	39,233	41,700	+6.3%
土木	97,168	101,700	+4.7%
不動産	2,867	2,600	△9.3%
売上総利益	14,445	14,600	+1.1%
	(10.4%)	(10.0%)	(△0.4ポイント)
建築	3,966	4,110	+3.6%
	(10.1%)	(9.9%)	(△0.3ポイント)
土木	10,233	10,030	△2.0%
	(10.5%)	(9.9%)	(△0.7ポイント)
不動産	245	460	+87.2%
	(8.6%)	(17.7%)	(+9.1ポイント)
受注高	158,588	155,000	△2.3%
建築	47,386	46,000	△2.9%
土木	108,334	106,400	△1.8%
不動産	2,867	2,600	△9.3%

セグメント別業績予想(個別)

(百万円未満切捨)

(単位:百万円)

	2016/3	2017/3	
	実績	予想	前期比増減率
売上高	78,725	82,000	+4.2%
建築	37,237	40,200	+8.0%
土木	38,586	39,200	+1.6%
不動産	2,901	2,600	△10.4%
売上総利益	7,816	7,600	△2.8%
	(9.9%)	(9.3%)	(△0.7ポイント)
建築	3,726	3,940	+5.7%
	(10.0%)	(9.8%)	(△0.2ポイント)
土木	3,615	3,200	△11.5%
	(9.4%)	(8.2%)	(△1.2ポイント)
不動産	474	460	△3.0%
	(16.3%)	(17.7%)	(+1.4ポイント)
受注高	96,450	91,000	△5.7%
建築	45,365	45,000	△0.8%
土木	48,184	43,400	△9.9%
不動産	2,901	2,600	△10.4%

経営指標

	2012/3 実績	2013/3 実績	2014/3 実績	2015/3 実績	2016/3 実績	2017/3 予想
配当金／株	12円	12円	13円	15円	18円	18円
配当性向 (連結)	47.5%	63.9%	48.7%	31.9%	26.2%	25.3%
ROE (連結)	2.9%	2.1%	2.9%	5.1%	6.8%	6~7%台
営業利益率 (連結)	1.4%	1.7%	1.8%	2.9%	4.2%	4.3%
自己資本比率 (連結)	60.1%	59.2%	58.1%	56.4%	60.0%	60%台
従業員数 (連結)	1,492人	1,524人	1,552人	1,605人	1,665人	1,700人台

■ 利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益還元を経営上の重要な課題の一つと位置付け、財務体質の強化のため必要な株主資本の充実に努めるとともに、安定した配当を継続しつつ、企業業績に応じた利益還元をおこなうことを基本方針とする。

コーポレートガバナンス報告書

コーポレートガバナンス報告書について

■前年度提出したコーポレートガバナンス報告書から変更予定の2項目

原則4-8

- 梅田明彦氏を独立社外取締役の候補者とした。
- 妹尾泰輔氏とあわせて2名以上の独立社外取締役となるので、本年度からコンプライ項目となる予定。

原則3-1

- 取締役・監査役候補者の指名理由については、本年度から「定時株主総会招集ご通知」の「株主総会参考書類」に記載することとし、コーポレートガバナンス報告書には記載しない予定。

中長期ビジョン

中長期事業環境認識

事業環境	
中期	<ul style="list-style-type: none">● オリンピック開催・インバウンド対応を契機とした建設需要の拡大● 国土強靱化への取り組み(防災・減災、インフラリニューアル)● コンパクトシティ・地方創生への取り組み● リニア新幹線・ハブ空港等の大型プロジェクトの推進● 首都圏を中心とする大型工事の本格化による労務・資材費の高騰懸念● 消費増税による個人消費の減少と景気の停滞
長期	<ul style="list-style-type: none">● エネルギー・地球環境問題への取り組み● 経済・社会の成熟化による国内建設投資の漸減● 建設需要の質的变化(新設からリニューアルへ)● 総人口・生産年齢人口の減少による国内建設需要の縮小● 少子高齢化、人口減少による建設就労者の高齢化と減少

基本事業戦略

当社

- 技術力の強化
- 新規事業分野の確立
- 顧客の拡大

グループ 会社

- 得意分野への集中
- 専門技術の開発・改良

グループ 共通

- 人材の確保・育成
- 労働環境の改善
- 生産性向上施策の推進

当社グループの重点事業戦略

建築

- 固有耐震技術を活かした建築リニューアル分野の拡大
- 官庁および民間非住宅分野の拡大

土木

- 固有無人化施工技術を活かした機械化分野の拡大
- 固有技術や施工経験を活かした新エネルギーや土木リニューアル分野の拡大
- グループ会社の専門技術を活かした事業分野の拡大（海上・港湾、法面保護、地盤改良、舗装等）

建設 共通

- 大規模プロジェクトへの参画
- 防災・減災、機械化をテーマとする研究開発活動の強化とその実用化
- 協力業者との連携強化（マイスター制度の拡充等）

当社グループの重点事業戦略

不動産

- 土地仕入・販売力の強化による自社分譲マンション住戸（アビダス）の安定的供給と事業規模の拡大

新規事業

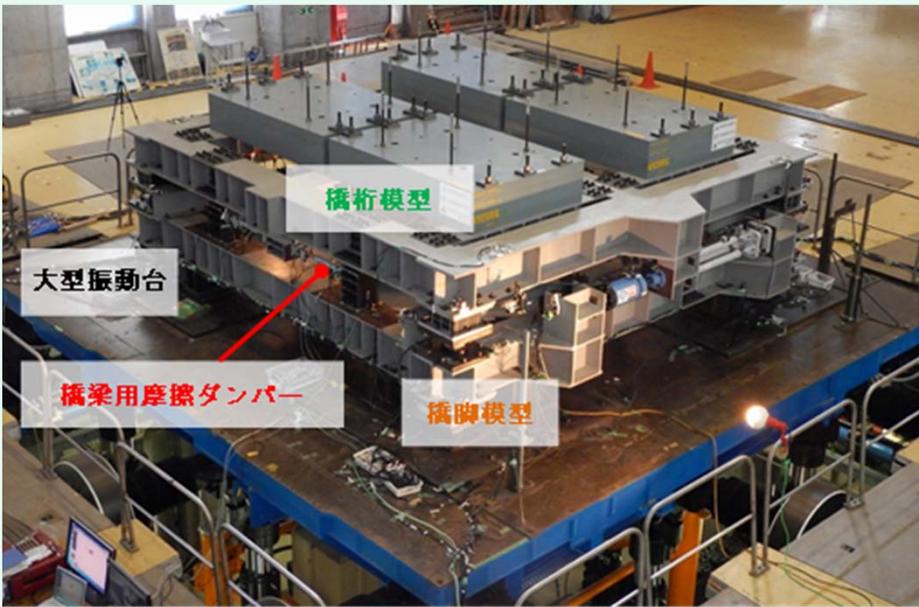
- 事業領域の拡大（自社分譲マンション事業に続く脱請負事業の開拓）

経営

- パーフェクト・クオリティ（施工品質・ガバナンス）の追求
- 継続的な新卒採用と人材育成による世代交代、技術・ノウハウの継承
- 女性活躍推進（女性管理職の登用、女性が少ない部署への積極的配置）
- ワークライフバランスの充実（労働時間短縮・賃金等労働条件の改善に向けた取り組み）

研究開発活動の取り組み(1)

研究名称	既設橋梁の耐震性向上技術に関する研究
研究会社	青木あすなる建設(株)
共同研究者	首都高速道路(株)
研究内容	既設橋梁の耐震性を向上する技術、橋軸直角方向用制震デバイス「橋梁用ダイス・ロッド式摩擦ダンパー」の開発。国立研究開発法人土木研究所にて実施した実橋梁を模擬した振動台実験で制震効果が確認でき、本技術の適用促進が期待される。



(振動台実験の様子)

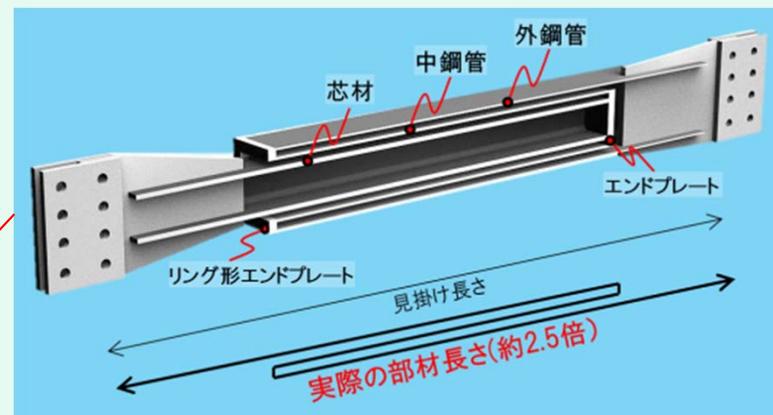
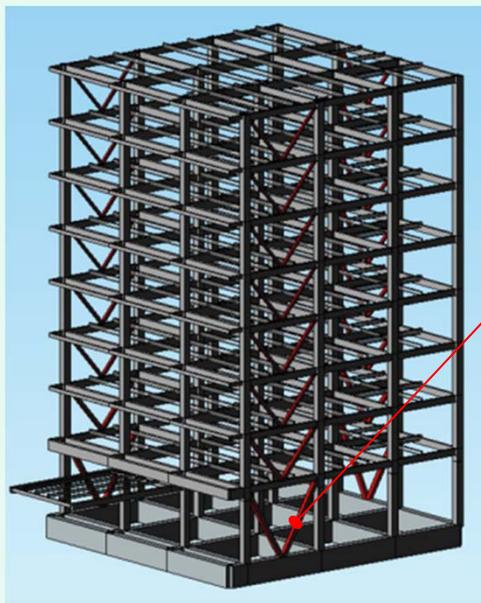
研究開発活動の取り組み(2)

研究名称	壁面走行ロボットの導入と応用技術の開発
研究会社	青木あすなる建設(株)
共同研究者	阪神高速道路(株)、阪神高速道路技術(株)、非破壊検査(株)
研究内容	高速道路構造物の保全作業をおこなう壁面走行ロボットの導入と応用技術の開発。高速道路の大規模修繕工事や大規模更新工事にその成果が期待される。

(試験走行の様子)

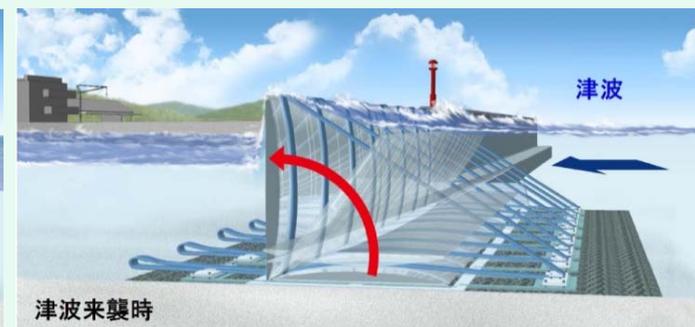
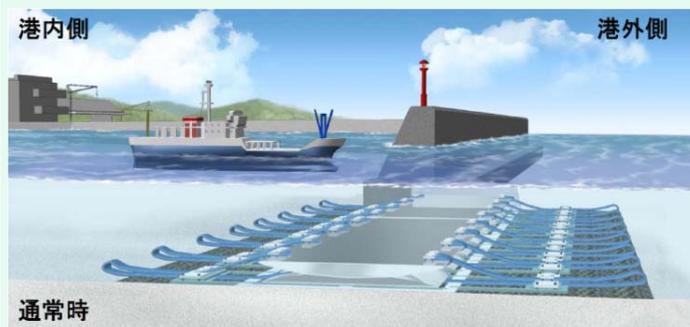
研究開発活動の取り組み(3)

研究名称	柔剛混合制震構造の研究(折り返しブレース)
研究会社	青木あすなる建設(株)
共同研究者	—
研究内容	あらゆる鉄骨構造物に適用可能な変形性能に優れた「折り返しブレース」の開発。ブレースの配置に制約のある建物において、折り返しブレースを適用することで耐力・剛性に優れたブレース構造を実現。純ラーメン構造に比べ建物全体の使用鋼材量を約20%削減できる。



研究開発活動の取り組み(4)

研究名称	津波・高潮対策 流起式(可動)防波構造体の研究
研究会社	みらい建設工業(株)
共同研究者	(独)港湾空港技術研究所、京都大学 防災研究所、(財)沿岸技術研究センター、(株)丸島アクアシステム、(株)ニュージェック
研究内容	平常時には海底に沈んでいる扉体が、津波が発生するとその流れにより、まったくの無動力で水面上に立ち上がる新しいタイプの可動防波堤の開発。2015年10～11月に(独)港湾空港技術研究所にて1/10模型による実証に準じたレベルの水路実験を実施し、可動性を確認。現在、細部検討を継続中。



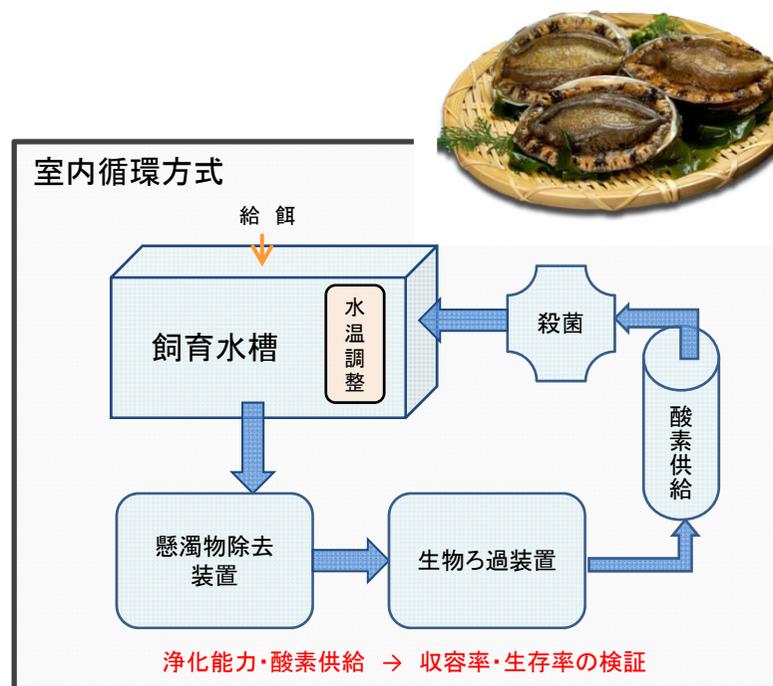
新たな事業への取り組み

■ 農林水産業への参入

アジア圏での消費拡大傾向にある水産物に注目し、ウニの肥育養殖やアワビの陸上養殖などの事業化に向け研究を開始。



ウニ増養殖実証試験予定地(北海道木古内町)



アワビ陸上養殖 システム例



AsunaroAoki

青木あすなる建設